

基本目標	主要課題	施策	参照ページ		指標	施策中心課 (施策関係課)	単位	基準値	基準時点	目標値	目標時点	実績 令和3年度	新規の取組み	見直し・廃止した取組	必要性	達成度	方向性	実施方法	方向性等を踏まえた今後の取組み
			評価報告書	第三次計画書															
			評価シート	事務事業															
1 保健衛生の充実																			
1 保健所機能の充実																			
1	保健衛生施設の機能充実	25	72	64	保健師研修会参加率	保健総務課	%	80	令和元年度	80	令和7年度	47	・災害発生時の新型コロナウイルス感染者等への対応に際し、保健所と避難所との非常連絡手段を確保するためにIP無線機を導入した。 ・新型コロナウイルス感染症の感染機会の削減と業務継続を図るためPHSやアンテナ等を設置し、コロナ禍でも業務を継続できる体制を整備した。	・新型コロナウイルス感染症に対応するため、電話回線の増設など保健所相談機能の強化を図った。 ・研修会等の機会が減少したため、オンライン研修など参加方法を見直した。	維持	概ね順調	維持	継続	引き続き、現状の施策に継続して取り組むとともに、オンラインの導入等を通じて、研修会の参加機会の増加に努める。
					実習生等受入率(埼玉県による割振)		%	100	令和元年	100	令和7年度	100							
2	検査機能の充実	27	73	68	食品等の検査	衛生検査課	検査数(項目)	5,079	令和元年度	—	—	3,850	新型コロナウイルス ゲノム解析検査の実施		維持	概ね順調	維持	継続	引き続き、現状の施策に継続して取り組む。同時に、社会状況に応じて求められる検査に対応できる検査体制を整備していく。
					水質の検査		検査数(項目)	1,147	令和元年度	—	—	1,076							
					感染症等の検査		検査数(項目)	668	令和元年度	—	—	7,726							
					家庭用品等の検査		検査数(項目)	12	令和元年度	—	—	12							
					健康食品の無承認無許可医薬品の検査		検査数(項目)	48	令和元年度	—	—	48							
2 保健予防対策の推進																			
1	精神保健対策の推進	29	74	72	市民向け普及啓発講演会の延べ参加人数	保健予防課	人	42	令和元年度	基準値以上	令和7年度	中止			維持	概ね順調	維持	継続	引き続き、現状の施策に継続して取り組む。新型コロナウイルス感染症を取り巻く社会情勢に注視し、その時の情勢に応じた相談支援、普及啓発を実施していく。
					川越市自殺死亡率		人口10万人対	19.2	平成27年	14.1	令和5年	14.4							
2	感染症予防対策の推進	31	75	76	結核り患率	保健予防課	人口10万人対	9.9	令和元年	10.0以下	令和7年	11.0		民間委託等を活用して、新型コロナウイルス感染症に対応できる体制を維持した。	維持	概ね順調	維持	継続	引き続き、現状の施策に継続して取り組む。新型コロナウイルス感染症を取り巻く社会情勢に注視していく。
3 生活衛生対策の推進																			
1	食の安全の確保	33	77	82	監視における違反施設発見数	食品・環境衛生課	件	40	令和元年度	24	令和7年度	7			維持	順調	維持	継続	引き続き、現状の施策に継続して取り組む。
					食品等収去検査における試験検査不適数		検体	3	令和元年度	3	令和7年度	1							
					食中毒の発生件数		件	2	令和元年度	0	令和7年度	0							
2	衛生的な住環境の確保	35	78	86	生活衛生施設の監視指導実施率(全業態平均値)	食品・環境衛生課	%	17	令和元年度	19	令和7年度	9			維持	順調でない	維持	見直し	令和3年度は、新型コロナウイルス感染症の拡大により、積極的な監視指導を控えたが、今後は生活衛生水準の維持・向上のため監視指導を実施する方向で見直す。
					犬・猫の殺処分数		頭	1	令和元年度	0	令和7年度	0							

基本目標	主要課題	施策	参照ページ			指標	施策中心課 (施策関係課)	単位	基準値	基準時点	目標値	目標時点	実績 令和3年度	新規の取組み	見直し・廃止した取組	必要性	達成度	方向性	実施方法	方向性等を踏まえた今後の取組み
			評価報告書		第三次計画書															
			評価シート	事務事業																
2 健康づくりの推進																				
1 予防接種の推進																				
	1	予防接種の推進	37	80	90	乳幼児の定期予防接種接種率	健康管理課 (新型コロナウイルスワクチン接種対策室)	%	97.07	令和元年度	98	令和7年度	86.02	予防接種法等に基づき、新型コロナウイルスワクチンの接種を実施。	日本脳炎ワクチンの供給不足により第2期接種対象者(9歳)への個別勧奨を令和4年度に延期した。風しん第5期事業の制度延長に伴う個別通知を令和4年度に実施。	維持	概ね順調	維持	継続	引き続き、現状の施策に継続して取り組むこと、及び感染状況等を踏まえ、国が新型コロナウイルスワクチンの確保や事業継続、実施手法等を決定することから、これらに従って接種ニーズに応じた接種体制を維持・構築する。
2 母子保健の充実																				
	1	母子保健の充実	39	81	96	乳児家庭全戸訪問事業の訪問件数	健康づくり支援課	件	2,296	令和元年度	2,359	令和6年度	2,158	下半期より産後ケア事業(通所型)及び新生児聴覚検査を開始した。	感染拡大に伴い、教室を一部中止またはオンライン開催とした。	維持	順調	維持	継続	妊産婦の不安の軽減と孤立感の解消と子どもの健全育成、保護者の育児不安の解消のため、工夫をしながら妊娠期から子育て期にわたる切れ目ない支援体制の整備を図っていく。なお、コロナ禍においては、孤立感や不安感を抱く妊婦や子育て家庭が少なくない状況を鑑み身近なところで相談に応じ、様々なニーズに即した支援につなぎ、妊婦・子育て家庭が安心して出産・子育てができるように支援していく。
					産前・産後サポート事業の実施回数	回		6	令和元年度	20	令和6年度	19								
					利用者支援事業(母子保健型)の開設箇所数	箇所		1	令和元年度	2	令和6年度	2								
					産後ケア事業の利用者数(延べ)	人		29	令和元年度	40	令和6年度	42								
					乳幼児健康診査の受診率	%		4か月 95.9 1歳半 96.6 3歳 93.7	令和元年度	4か月 96 1歳半 97 3歳 95	令和6年度	4か月 96.4 1歳半 94.5 3歳 94.2								
					乳幼児健康相談の開催回数	回		27	令和元年度	30	令和6年度	43								
3 健康寿命の延伸																				
	1	健康づくりの支援	41	83	100	健康寿命(男性)	健康づくり支援課	年	17.61	平成30年	平均寿命の増加分を上回る健康寿命の増加	令和6年	17.85	新型コロナウイルス感染症の影響を受けて、市民の健康に対する関心の変化を把握するため意識調査を実施する企画・準備を行った。	感染拡大に伴い、講演会・イベントなどを中止。他課等のイベントに合わせて実施していた啓発も実施できなかった。	維持	概ね順調	維持	継続	令和4年度に、新型コロナウイルス感染症が与える健康意識の変化を考慮した健康づくりの展開を検討する。また、コロナ禍における事業の実施等については、健康づくりの課題に即しつつ、社会情勢や感染状況を踏まえ、ICTなどを活用し市民が安心して参加できるよう配慮した方法での実施を検討する。(イベントのWeb開催等)
					健康寿命(女性)	年		20.17	平成30年	令和6年	20.48									
					意識的に身体を動かしている人の割合	%		65.6	平成30年度	70以上	令和6年度	—								
					睡眠により疲れが取れていない人の割合	%		17.6	平成30年度	15以下	令和6年度	—								
					喫煙率(成人)	%		13.5	平成30年度	12以下	令和6年度	—								

基本目標	主要課題	施策	参照ページ		指標	施策中心課 (施策関係課)	単位	基準値	基準時点	目標値	目標時点	実績	新規の取組み	見直し・廃止した取組	必要性	達成度	方向性	実施方法	方向性等を踏まえた今後の取組み
			評価報告書	第三次計画書															
			評価シート	事務事業								令和3年度							
2	食育の推進	43	85	104	適正体重の人の割合	健康づくり支援課	%	66.2	平成30年度	75以上	令和6年度	—	市民センターや公民館、図書館の展示スペースを利用し、定期的に食育掲示及び展示を行った。また、広報や市HP、SNSを活用するなど、新たな方法での啓発も行った。さらに、企業や大学と共同で食環境整備に取り組んだ。 新型コロナウイルスの影響を受けて、市民の健康に対する関心の変化を把握するため意識調査を実施する企画・準備を行った。	感染拡大に伴い、健康教室や講演会を中止した。	維持	順調	維持	継続	令和4年度は、モデル地区を選定し、食に関する意識調査を実施し、課題の把握と、今後取組む食環境の整備における具体的方法を明確にしていく。また、感染拡大に伴い中止した健康教室や講演会は、人数制限を考慮するなど、感染対策を徹底し実施していく。
					野菜を食べている食事の回数(20～50歳代)		回	中間アンケートで算出	令和3年度	中間アンケートからの増加	令和6年度	—							
					1日2回以上、主食・主菜・副菜がそろった食事をしている人の割合(60歳代以上)		%	52.2	平成30年度	増加	令和6年度	—							
					塩分の摂取量について意識している人の割合(20～50歳代)		%	57.3	平成30年度	増加	令和6年度	—							
					朝食を欠食する人の割合(20～30歳代)		%	25.4	平成30年度	22以下	令和6年度	—							
3	歯科口腔保健の充実	45	86	108	かかりつけ歯科医を持つ人の割合	健康づくり支援課	%	70.8	平成30年度	85以上	令和6年度	—	広報やホームページを活用した啓発活動を実施した。 新型コロナウイルス感染症の影響を受けて、市民の健康に対する関心の変化を把握するため意識調査を実施する企画・準備を行った。	感染拡大に伴い、イベントや事業を一部中止した。	維持	概ね順調	維持	継続	令和4年度に、新型コロナウイルス感染症が与える健康意識への影響をアンケート調査し意識の変化を考慮した健康づくりの展開を検討する。また、令和3年度に中止したイベントなどについては、Webでの開催等を検討し、様々な方法で市民に情報発信を図る。
					年に1度は歯科健診を受ける人の割合		%	48	平成30年度	55以上	令和6年度	—							
					12歳児でむし歯のない人の割合		%	66.5	平成30年度	77以上	令和6年度	68.3							
					6024達成者の割合		%	64.9	平成30年度	80以上	令和6年度	—							
					8020達成者の割合		%	42.5	平成30年度	60以上	令和6年度	—							
					ゆっくりよくかんで食べる人の割合		%	20.3	平成30年度	増加	令和6年度	—							
4	特定健康診査等の実施	47	87	112	特定健康診査受診率	国民健康保険課 (高齢・障害医療課)	%	41.9	令和元年度	60	令和5年度	38.2	後期高齢者医療健康診査項目にアルブミンを追加。 高血圧予防事業の相談を、対面から電話指導へ切り替えた。	維持	概ね順調	維持	継続	引き続き、現状の施策に継続して取り組む。 新型コロナウイルス感染症の蔓延状況に留意し、幅広い事業の周知を行っていく。	
					特定保健指導実施率		%	13.1	令和元年度	60	令和5年度	19.2							
					血圧の有所見者率(収縮期血圧)		%	47.6	令和元年度	45以下	令和5年度	49.2							
					血圧の有所見者率(拡張期血圧)		%	20.8	令和元年度	18以下	令和5年度	21.6							
					新規人工透析移行者数		人	76	令和元年度	80	令和5年度	62							
					後期高齢者健康診査受診率		%	30.8	令和元年度	40	令和5年度	28.9							

基本目標	主要課題	施策	参照ページ		指標	施策中心課 (施策関係課)	単位	基準値	基準時点	目標値	目標時点	実績 令和3年度	新規の取組み	見直し・廃止した取組	必要性	達成度	方向性	実施方法	方向性等を踏まえた今後の取組み	
			評価報告書																	第三次計画書
			評価シート	事務事業																
5	がん検診等の実施	49	88	116	胃がん検診(内視鏡検査)受診率	健康管理課	%	2.0	令和3年度	2.7	令和7年度	2.0			維持	順調	維持	継続	がんの早期発見・早期治療のため、引き続き検診事業を行っていく。各種がん検診の受診率向上のため、啓発活動に努める。	
					胃がん検診(胃部X線検査)受診率		%	2.1	令和3年度	3.2	令和7年度	2.1								
					肺がん検診受診率		%	0.8	令和3年度	1.4	令和7年度	0.8								
					大腸がん検診受診率		%	9.3	令和3年度	11.1	令和7年度	9.3								
					子宮がん検診受診率		%	6.0	令和3年度	8.1	令和7年度	6.0								
					乳がん検診受診率		%	8.9	令和3年度	11.4	令和7年度	8.9								

3 医療体制の充実

1 地域医療体制の整備・充実

1	地域医療の基盤づくり	51	90	120	かかりつけ医を持つ世帯	保健医療推進課	%	69	令和元年度	73	令和7年度	62		新型コロナウイルス感染症の影響により、市民講演会等が中止となった。	維持	概ね順調	維持	継続	引き続き、現状の施策に継続して取り組む。新型コロナウイルス感染症の感染動向を注視し、状況に応じた支援を行う。
					看護師学校養成所又は准看護師養成所の卒業者のうち、市内の医療機関等への就職者数		人	519	平成28年～令和2年度	455	令和3～7年度	68							
					訪問診療を実施する医療機関数		箇所	37	平成28年度	52	令和5年度	38							
2	医療の安全確保	53	92	124	病院への立入検査実施率	保健総務課	%	100	平成30年度	100	平成7年度	100		薬物乱用防止啓発用リーフレットの配布が出来ないため、SNSを利用し普及啓発を実施した。	維持	概ね順調	維持	継続	引き続き、現状の施策に継続して取り組む。
					薬物乱用防止リーフレット配布枚数		枚	1,000	平成30年度	1,000	平成7年度	0							

2 緊急時の医療体制の整備

1	救急医療体制の整備	55	94	128	夜間及び休日における救急医療の実施率	保健医療推進課	%	100	令和元年度	100	令和7年度	100		新型コロナウイルス感染症の感染対策として、参加者の削減、内容の一部変更等を実施した上で、普通救命講習を開催した。	維持	順調	維持	継続	引き続き、現状の施策に継続して取り組む。なお、コロナ禍においては、県と連携しながら、円滑な入院調整を図れるように対応していく。
					救急搬送人員における軽症者の比率		%	50.5	令和元年	48.8	令和7年	48.9							
2	災害時医療体制の整備	57	95	132	災害時連絡用IP無線通信訓練	保健医療推進課	回	10	令和元年度	12	令和7年度	12	新型インフルエンザ等対策特別措置法に基づき、新型インフルエンザ等対策本部を設置して、対策に取り組んだ。交付金等を活用して、新型コロナウイルス感染症に対する医療体制の構築を図るため、市内医療機関への支援を行った。	上昇	概ね順調	拡充	継続	埼玉県災害時医療救護基本計画で示している市の役割に合った災害時の医療体制整備のため、医師会、医療機関等と協議できる体制が必要である。また、市内医療機関等に対して、新型コロナウイルス感染症の感染状況にあわせた支援を行う。	
					広域災害救急医療情報システム(EMIS)入力訓練		回	1	令和元年度	1	令和7年度	1							

基本目標	主要課題	施策	参照ページ			指標	施策中心課 (施策関係課)	単位	基準値	基準時点	目標値	目標時点	実績		新規の取組み	見直し・廃止した取組	必要性	達成度	方向性	実施方法	方向性等を踏まえた今後の取組み
			評価報告書		第三次計画書								令和3年度								
			評価シート	事務事業																	
3 医療制度等の充実																					
	1	障害者医療の充実	59	96	136		高齢・障害医療課 (保健医療推進課、保健総務課)								重度心身障害者医療費受給資格登録申請書の押印欄を廃止した。 また、ふれあい歯科診療所においては、院内の感染対策として、待合室や診療室内で患者が密にならないように診療間隔の調整や受付対応を工夫した。	維持	概ね順調	維持	継続	引き続き、現状の施策に継続して取り組む。	
	2	母子医療の充実	61	97	138		健康管理課									維持	順調	維持	継続	特定不妊治療については、保険適用に向けた国の動きに注視しつつ業務に取り組む。 他業務については、引き続き現状の施策に継続して取り組む。	
	3	難病対策	63	98	140	骨髄移植ドナー助成件数	健康管理課	件	2	令和元年	6	令和7年	3			維持	順調	維持	継続	引き続き、現状の施策に継続して取り組む。	
4 社会保障の適正運営																					
1 社会保障の適正運営																					
	1	国民健康保険制度の健全な運営	65	99	142	国保会計赤字削減額	国民健康保険課	千円	97,000	平成30年度	1,100,000	令和5年度	896,602		「新たな納付方法の導入」として、スマホアプリ決裁対象ブランドを拡大した。ときも健康川柳・健康メッセージを終了した。	維持	概ね順調	維持	継続	引き続き、現状の施策に継続して取り組む。	
	2	後期高齢者医療制度の円滑な運用	67	100	144		高齢・障害医療課							高齢者の保健事業と介護予防の一体的な実施。		上昇	順調	維持	継続	令和3年度に開始した高齢者の保健事業と介護予防の一体的な実施について、体制整備をさらに進めていく必要がある。一方で、持続可能な社会保障制度の構築が求められる状況において、入院時見舞金支給事業のあり方について改めて見直す必要がある。	